



第35回

# グランドチャンピオン

6/24(火)~29(日) ボートレース戸田

昨年のSG戦線をリードした強豪が集結するグランドチャンピオン。今年の舞台は全国屈指の難水面・戸田で、桐生順平が優勝した24年ダービー以来のSG開催。前年は土屋智則が2度目のSGタイトルを手にしたが、今年は果たして——。

池田浩二



桐生順平



**選出1位はSG5優出の池田浩二  
エース桐生順平が地元SG連覇を狙う**

さすがグラチャン、とても言うべきか。ドリームメンバーは実に豪華。期間中(24年オールスター)25年クラシック)のSGで5優出の池田浩二は、いつでもどこでも優勝戦に顔を出した。優勝こそ手に届かなかったが、高値安定はさすがのひと言だ。またグラチャンは22年の第32回大会(唐津)での優勝を皮切りに3年連続優出中。大会相性は抜群と言っている。ただ、戸田は昨年3節出場(SGクラシック・GI68周年・SGダービー)して優出ゼロ。22場で優勝している池田が、まだ優勝を成し

えていない2場の1つが戸田だ。モーター抽選もさることながら、いかに難水面を克服できるかがカギとなりそうだ。

昨年10月のSGダービーで、3コースから鮮やかなまくりを決めて地元SG初制覇を果たした桐生順平。1月の正月レースも圧巻の走り制すなど、勝手知ったる地元水面はまさにドル箱だ。狙うは地元SG連続V。今年はまだGI以上の優勝がないだけに、昨年同様、地元SGをきつかけに年末への勢いを加速させたい。

昨年は3月にもクラシックが開

# GRAND in BOATRACE TODA CHAMPIONSHIP

## ●第35回グランドチャンピオン 出場予定選手(対象期間:24年4月~25年3月)

優先出場	登番	選手名	支部	勝率	得点	SG優出	SG優勝	備考	
前年V	4362	土屋 智則	群馬	7.16	178	2	1	3年連続4回目	
第39回GP優出	3941	池田 浩二	愛知	8.13	277	5	0	21年連続22回目	
	4262	馬場 貴也	滋賀	7.45	264	5	1	4年連続7回目	
	4851	関 浩哉	群馬	7.54	255	2	0	3年連続3回目	
	4238	毒島 誠	群馬	7.86	254	3	1	12年連続13回目	
	4444	桐生 順平	埼玉	8.01	225	3	1	3年連続12回目	
	4418	茅原 悠紀	岡山	8.13	196	2	1	10年連続12回目	
直前SG	第52回ボートレースオールスター(丸亀)優勝者								
SG優勝戦完走者	4320	峰 竜太	佐賀	8.19	275	1	0	2年連続11回目	
	4445	宮地 元輝	佐賀	7.27	264	3	0	3年連続3回目	
	4573	佐藤 翼	埼玉	7.40	241	3	0	5年連続5回目	
	4371	西山 貴浩	福岡	7.47	235	2	0	3年連続7回目	
	4205	山口 剛	広島	7.54	233	2	0	2年連続14回目	
	4504	前田 将太	福岡	7.54	224	1	1	4年連続7回目	
	4719	上條 暢嵩	大阪	7.23	215	1	0	4年連続4回目	
	4337	平本 真之	愛知	7.01	214	2	0	11年連続14回目	
	3783	瓜生 正義	福岡	7.03	192	1	0	2年連続18回目	
	3942	寺田 祥	山口	6.97	170	1	0	9年連続19回目	
	4459	片岡 雅裕	香川	6.83	170	1	0	3年連続4回目	
	4586	磯部 誠	愛知	7.02	170	1	0	5年連続5回目	
	4030	森高 一真	香川	6.58	163	1	0	7年ぶり12回目	
	3959	坪井 康晴	静岡	6.78	162	1	0	4年連続18回目	
	4168	石野 貴之	大阪	6.37	158	1	0	9年連続12回目	
	4494	河合 佑樹	静岡	7.27	135	1	1	2年ぶり2回目	
	3978	齊藤 仁	東京	6.71	119	2	0	8年ぶり6回目	
	4847	佐藤隆太郎	東京	7.11	95	1	1	初出場	
	4787	椎名 豊	群馬	6.88	76	1	0	2年ぶり2回目	
	4397	西村 拓也	大阪	6.97	56	1	0	2年連続4回目	
	4566	塩田 北斗	福岡	7.25	53	1	0	初出場	
	30	4350	篠崎 元志	福岡	7.24	220	0	0	6年連続11回目
	31	4685	島村 隆幸	徳島	6.92	193	0	0	3年連続3回目
	32	4524	深谷 知博	静岡	6.89	191	0	0	5年連続6回目
	33	3415	松井 繁	大阪	7.22	185	0	0	2年連続30回目
	34	3854	吉川 元浩	兵庫	7.24	179	0	0	2年連続14回目
	35	4503	上野真之介	佐賀	7.62	158	0	0	2年ぶり4回目
	36	4500	山田 康二	佐賀	7.50	149	0	0	2年連続4回目
	37	4831	羽野 直也	福岡	7.00	146	0	0	7年連続7回目
	38	4502	遠藤 工ミ	滋賀	7.09	138	0	0	3年ぶり4回目
39	3946	赤岩 善生	愛知	6.94	130	0	0	4年連続19回目	
40	4686	丸野 一樹	滋賀	6.67	122	0	0	3年ぶり4回目	
41	3897	白井 英治	山口	7.38	122	0	0	4年ぶり16回目	
42	4266	長田 頼宗	東京	6.76	120	0	0	2年連続9回目	
43	4344	新田 雄史	三重	7.40	118	0	0	3年ぶり12回目	
44	4166	吉田 拓郎	岡山	7.21	117	0	0	6年ぶり9回目	
45	4024	井口 佳典	三重	6.85	110	0	0	3年連続16回目	
46	4939	宮之原輝紀	東京	6.76	103	0	0	2年連続2回目	
47	4013	中島 孝平	福井	6.78	102	0	0	4年連続16回目	
48	3779	原田 幸哉	長崎	7.02	98	0	0	5年連続19回目	
49	4914	吉田 裕平	愛知	7.42	96	0	0	2年連続2回目	
50	3716	石渡 鉄兵	東京	6.34	95	0	0	2年連続13回目	
51	4760	山崎 郡	大阪	7.24	88	0	0	4年連続4回目	
52	4547	中田 竜太	埼玉	7.14	87	0	0	5年ぶり4回目	
予備1	4044	湯川 浩司	大阪	6.78	82	0	0		

毒島誠



催されたが、そこで優勝したが、グランプリ王者で24年MVPの毒島誠。戸田クラシックの優勝

りも強い気持ちで臨んでくるだろう。ダービー連覇が懸かった昨年

に始まり、グランプリ初Vで締めくくる充実の1年だった。今年も3月に尼崎↓平和島とGI連続Vを飾るなど4優出4優勝(5月23日現在)の安定運行。戸田を得意とするだけに、池田、桐生にとつては最も警戒すべき相手と言ってもいいだろう。

大会、優勝戦1号艇を手にしながら桐生のまくりで屈して4着。「戸田は苦手意識がある」と言うように、3月クラシックでも2度のイン戦で敗退。着取りこそまとまっているが、ここぞの場面で脆さを露呈した。峰のターン力ならもつと稼いでもおかしくないだけに、苦手意識の払しょくこそがカギとなるだろう。

馬場貴也もギアを上げた一人。今年も1月に下関周年、常滑BBCトーナメントと立て続けに優出。SGクラシックでもファイナル進出と安定した成績を残している。だが優勝となると、昨年のメモリアルから約9か月も遠ざかっている。それでも現時点で賞金ランキング11位にいるのだから、高打率にも変わりない。1号艇以外でも優勝をかつさう決定力が馬場の持ち味だけに、いつ爆発してもおかしくはない。



●出場選手の戸田勝率(22年1月~25年4月)

順位	登番	選手	勝率	出走	優出	優勝	順位	登番	選手	勝率	出走	優出	優勝
1	3415	松井 繁	8.12	226	14	3	27	3779	原田 幸哉	6.72	156	6	2
2	3897	白井 英治	7.86	166	9	4	28	4547	中田 竜太	6.71	757	38	11
3	4444	桐生 順平	7.53	792	50	20	29	4350	篠崎 元志	6.71	108	4	1
4	3854	吉川 元浩	7.42	191	8	3	30	4013	中島 孝平	6.66	243	7	1
5	3941	池田 浩二	7.31	160	1	0	31	3978	齊藤 仁	6.59	321	13	4
6	4504	前田 将太	7.29	123	6	4	32	4573	佐藤 翼	6.56	724	36	4
7	4371	西山 貴浩	7.26	124	5	1	33	4262	馬場 貴也	6.45	167	10	2
8	4686	丸野 一樹	7.18	99	7	0	34	3942	寺田 祥	6.45	166	8	1
9	4024	井口 佳典	7.15	234	11	5	35	4586	磯部 誠	6.43	144	4	0
10	3959	坪井 康晴	7.15	171	7	1	36	4494	河合 佑樹	6.39	184	6	2
11	4719	上條 暢嵩	7.06	126	7	2	37	4030	森高 一真	6.34	180	5	1
12	4320	峰 竜太	7.05	153	4	1	38	4502	遠藤 エミ	6.33	237	7	1
13	4831	羽野 直也	7.04	69	2	1	39	4524	深谷 知博	6.30	117	3	0
14	4397	西村 拓也	7.03	172	10	3	40	4787	椎名 豊	6.28	179	5	1
15	4205	山口 剛	7.01	142	7	0	41	4459	片岡 雅裕	6.28	97	1	0
16	3783	瓜生 正義	6.97	155	2	0	42	4337	平本 真之	6.18	137	4	0
17	4500	山田 康二	6.93	119	5	1	43	4266	長田 頼宗	6.06	221	4	1
18	4166	吉田 拓郎	6.89	203	9	3	44	4685	島村 隆幸	6.02	64	2	0
19	4760	山崎 郡	6.85	55	2	1	45	4362	土屋 智則	5.98	310	12	2
20	3946	赤岩 善生	6.82	239	11	5	46	4939	宮之原輝紀	5.84	68	3	0
21	4238	毒島 誠	6.81	186	9	2	47	4445	宮地 元輝	5.78	124	2	0
22	4418	茅原 悠紀	6.79	129	5	0	48	4847	佐藤隆太郎	5.77	83	4	0
23	4168	石野 貴之	6.79	128	5	3	49	4851	関 浩哉	5.74	103	5	0
24	4344	新田 雄史	6.78	157	6	1	50	4914	吉田 裕平	5.54	57	0	0
25	4503	上野真之介	6.75	142	4	0	51	4566	塩田 北斗	5.50	126	2	1
26	3716	石渡 鉄兵	6.73	397	15	2							

# 戸田勝率ナンバーワンは松井繁 佐藤翼は地元で初タイトルに照準

舞台が全国屈指の難水面とあり、得手不得手の差が成績に直結しかねない。左表は戸田の通算勝率ランキング。トップの松井繁は、出場メンバー中で唯一の8点オーバー。昨年ダービーの予選は1着こそなかったものの、オール3連対で準優入り。クラシックでも最

終日に連勝を飾るなど、とにかく舟券絡みが多い。前田将太と西山貴浩の福岡コンビも上々。前田は23年に2連続V。24年のGI68周年でも優出と、上位進出を外さない。西山も23年のGI周年から2連続優出、ダービーでも予選突破を果たした。戸田

巧者のイメージはあまりないが、外から巧みにさばいた舟券絡みがかく多い。

上位には当地SG優出経験のある面々がズラリと並ぶが、初タイトルの期待がかかるのが上條暢嵩。クラシック、ダービーはともに予選落ちを喫したが、近況はエンジン出しにも定評。伸びが仕上がれば狭い戸田はむしろ上條好みとなりそうだ。

もう一人、地元の佐藤翼の存在を忘れてはならない。昨年のダービーは桐生とのワンツーフィニッシュ。その後もチャレンジCで優出し、グランプリ初出場を決めた。今度は地元でSG初戴冠を決めた。



佐藤翼



松井繁

●直近の戸田のGI以上優勝戦結果

開催日	大会名	グレード	優勝	2着	3着	3連単	配当	人気	決まり手
2020/2/12	関東地区選	GI	永田 秀二	熊谷 直樹	椎名 豊	①⑥⑤	5540円	21	逃げ
2020/4/7	MB大賞	GII	前本 泰和	秋元 哲	上野真之介	①⑥②	3230円	13	逃げ
2022/2/1	開設65周年	GI	桐生 順平	平尾 崇典	山口 剛	①②③	780円	2	抜き
2022/4/18	開設66周年	GI	馬場 貴也	黒井 達矢	原田 篤志	②①④	2700円	9	抜き
2022/7/17	MB大賞	GII	井口 佳典	中村 晃朋	砂長 知輝	①②③	1000円	2	逃げ
2023/6/10	開設67周年	GI	桐生 順平	佐藤 翼	篠崎 仁志	①④②	1180円	5	逃げ
2024/3/20	クラシック	SG	毒島 誠	平本 真之	宮之原輝紀	②⑥④	37710円	95	差し
2024/6/4	開設68周年	GI	桐生 順平	茅原 悠紀	関 浩哉	①③⑥	1490円	4	逃げ
2024/10/27	ダービー	SG	桐生 順平	佐藤 翼	毒島誠	③⑤②	48420円	69	まくり
2025/2/15	関東地区選	GI	土屋 智則	北山 康介	佐藤隆太郎	①④②	4200円	15	逃げ

# GRAND in BOATRACE TODA CHAMPIONSHIP

地元番記者が厳選

## 戸田の注目エンジンを丸裸に!!

2連対率は25年5月20日時点のもの

9号機	評価 A	21号機	評価 S	38号機	評価 S	13号機	評価 S	47号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
35.9%	→	36.5%	↑	42.4%	↗	31.0%	↑	42.0%	→
正月戦で向後龍一がギアケースを交換してからパワーアップ。直線を中心に近況は常に上位級に仕上がっている。		2月に岸蔭亮のギアケース交換から一変。その次のシリーズでは古結宏がV。行き足から伸びを中心に上位級。		直線系はトップ級にまで仕上がる。GW戦では石塚久也がパンチある伸びを誇り、その後も連続で優出している。		2月の松本晶恵の整備後に急上昇。2月末の田路朋史から5節連続で節イチ級に。近況はバランス型の雰囲気。		当地エース機。2月の地区選で土屋千明が加速感満点の動きで活躍。近況はバランス型だが直線系も際立つ。	

42号機	評価 A	25号機	評価 A	33号機	評価 A	41号機	評価 A	30号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
36.7%	→	40.9%	→	34.8%	→	28.2%	↑	37.8%	↗
2月後半から上昇カーブを描いているエンジン。中間速が良く、バランスがいい。実戦で良さが出る雰囲気。		昨年10月のダービーの優勝エンジン。その後は多少の上下動はあったものの、行き足を軸に高水準の動き。		初おろしからまとまって上位から中堅上位級をキープ。行き足を中心に上々で、高水準でまとまっている。		1月に中間整備が入ってからガラリ一変。機をキープ。行き足を軸に上々で、高水準でまとまっている。		2月から3月にかけて下降線をたどったが、4月から再上昇。行き足から伸びを軸にポテンシャルは高い。	

## エース機評価は47号機 ダービーV25号機はムラあり

現行エンジンは昨年の8月3日から使用されており、10月のダービーに続いてSGは2度目となる。桐生順平のダービーV機は25号機。上位に仕上がることもあるが、近況はややムラがある印象。また、ギアケース等の整備によって急上昇しているエンジンがあり、機勝率はあまりアテにできない。エースと評価されているのが47号機。1月には岩永雅人をデビュー初Vに導き、2月の地区選では土屋千明が加速感満点の動きで予選6位通過と活躍。4月あたりからはバランス型になっているが、足を求めれば当然反応は出るポテンシャルがある。

上位級に仕上がっている。38号機も直線系を中心にパンチがある。GW戦の石塚久也から向後龍一、伊藤誠二と3節連続でトップ級に仕上がった。

21号機はギアケース交換から急上昇しており、行き足から伸びの迫力は満点だ。20%台の機勝率だが、上位に仕上がるパワーを秘めているのが41号機。勝率が低く、ダービーや地区選には出場していないが、1月の中間整備後に気配一変。加速感満点で、GW戦では野田昇吾がパワフルな攻めで沸かせた。

その他では地区選Vの18号機がバランス型で実戦で良さを見せている。最高勝率機の14号機もややムラはあるが、合えば上位級になるポテンシャルがある。

(ガイド・長谷川)

